

社会的困窮者・就労困難者の現状と各種支援策の効果に関する調査研究報告書

---

社会的困窮者・就労困難者の現状と各種支援策の効果に関する調査研究委員会

主査	福原 宏幸 (大阪市立大学経済学部教授)
委員	山田 育男 (生活困窮者連絡協議会世話人)
	稲葉 剛 (NPO 法人自立生活サポートセンター・もやい理事長)
	遠藤 智子 (一般社団法人 社会的包摂サポートセンター事務局長)
	藤田 孝典 (NPO 法人ほっとプラス代表理事)
	安江 鈴子 (ホームレス資料センター理事長)
	鈴木 晶子 (横浜パーソナル・サポート・サービス PS 事業統括)
オブザーバー	伊藤 彰久 (連合生活福祉局長)
	北村 祐司 (労働者福祉中央協議会事務局次長)
	岡本 祥浩 (中央大学総合政策学部教授)

---

2000 年以降の格差と貧困の拡がりの中で、連合が要求してきた「第二のセーフティネット」の恒久化をはじめ、政府もいくつかの政策を講じてきたが、目に見えた改善が見られず、2011 年の東日本大震災によって新たな問題も生じている。

本調査研究では、これまでに実施されてきた各種の施策が、当事者たちにとって効果的なものであったか、使い勝手の良いものであったか、実際に現場で実務に携わっている委員の報告等を踏まえて検証を行った。

そして、全国 28 ヶ所の社会的困窮者、就労困難者支援に取り組んでいる支援団体・NPO や行政窓口に対するヒアリング調査を実施し、それぞれの制度の活用状況、実績、運用上の問題点などを明らかにし、「第二のセーフティネット」を構成する各種制度が有機的につながるなかで、生活困窮者支援が一層質の高いものとなるような提言を含む報告書を取りまとめた。

---

**目次**

第 1 部 総論

第 2 部 分析編

資料編 ケースレポート編